

横6 工事検査における出来形確認等のシステム化

求める技術：⑩

1 課題を抱える業務の内容

工事検査は発注時期の平準化により分散傾向にはありますが、現場条件への対応や、道路規制の影響もあり、現在も3月末に集中しています。

検査における時間割合は現場検査30%、書類検査70%程度になりますので繁忙期には検査に対応する職員及び検査を受ける施工者にとっても負担となります。

2 課題の詳細

出来形・品質検査に必要な情報をデータ化し、書類とともに確認できれば、検査における業務時間を大幅に削減できます。

3 こんな技術を求めています！

- ICTにより、職場にいながら、出来形等の確認が行える。
 - ・水道工事におけるICT建機等を用いた土量管理、施工量、使用材料、搬出量等を自動でデータ化し、出来形・品質のばらつき、出来形数量確認の効率化を行えるシステムの開発など
 - ・フォルダ内の画像データからキーワードを用いて画像検索を可能とし、閲覧の時間削減ができる技術。

4 技術の導入により代替が期待される業務

検査員が現地で行う出来栄えの確認、書類検査における確認作業・照合作業

5 事業規模・業務量

- 年間工事検査件数：※215件（500万円以上の土木工事） ※：令和6年度実績
検査業務1件当たりにかかる業務量： $2\text{ (日/人)} \times 1\text{ (人)} = 2\text{ (日)}$